

# 「チャレンジ アンダー2,000みえ」推進運動

三重労働局第13次労働災害防止計画では、計画期間中のできるだけ早い時期に休業4日以上  
の死傷者数を2,000人未満とする目標を設定しましたが、初年度である平成30年は前年と比べて  
11件・3.2%増加し、平成29年から2年連続で増加しました。

## 『チャレンジ アンダー2,000みえ』実施要綱

### ○ 実施期間

平成31年1月1日～12月31日

### ○ 主催

三重労働局・各労働基準監督署

### ○ 重点事項

1. 年間安全衛生管理計画の策定と確実な実施

2. 死傷者数が多い又は平成30年に増加傾向にある、次に掲げる労働災害防止対策の推進

① 交通労働災害

② 転倒災害

③ 墜落・転落災害

④ 機械災害（「はさまれ・巻き込まれ」及び「切れ・こすれ」災害）

⑤ 熱中症

⑥ 腰痛

## ◎ 事業者の皆様に取り組んで頂きたいこと

### 1 「平成31年(度)年間安全衛生管理計画」の策定 及び確実な実施

各労働基準監督署、労働基準協会、災害防止団体から送付された様式（三重労働局ホームページからもダウンロードできます。）を参考に年間計画を策定・実施し、労働災害の防止に努めて下さい。

### 3 「アンダー2,000みえ推進トライアル」への参加

期間：令和元年7月1日(月)～9月30日(月)

実施事項：①労働災害に係る具体的目標の設置

②重点的に取り組む自主的安全衛生活動

募集期間：令和元年6月3日から6月28日まで

応募資格：

○ 「平成31年(度)安全衛生管理計画・実施結果報告書」を作成し、所轄労働基準監督署に提出した事業場

○ 平成31年1月1日以降申請日まで休業4日以上の死傷災害「ゼロ」等要件を満たす事業場

○ 労働保険料の滞納がない事業場

○ その他

賞揚：期間中無災害を達成した事業場に対しては三重労働局ホームページに、事業場名、目標達成状況等、企業アピールを掲載します。

詳細については「チャレンジアンダー2,000みえ推進トライアル」実施要綱を確認して下さい。

（三重労働局ホームページに掲載）

### 2 「アンダー2,000みえ推進大会」への参加

と き：令和元年7月2日（火）

と ころ：三重県総合文化センター

フレンテみえ 多目的ホール

【講演1】「高齢者に係る労働災害防止対策について」  
中災防中部安全衛生サービス安全管理士 各務博幸氏

【事例発表】「JISQ45001とJISQ45100の導入と実践について」  
NTN(株)桑名製作所管理部安全・環境管理課長 伊藤晃幸氏

【講演2】「安全衛生活動の一段のレベルアップによる  
労働災害防止の目標の達成と継続」

（一社）日本労働安全衛生協会三重県支部長 坪谷広之氏

### 4 「アンダー2,000みえ推進運動」のロゴマークの活用

> 労働災害防止に係る目標の徹底

> 職場における安全衛生意識の高揚



○ 「年間安全衛生管理計画」で策定した目標を「チャレンジアンダー2,000みえ」のロゴと共に職場に掲示し、職場全体に周知・徹底して下さい。

# STOP! 熱中症

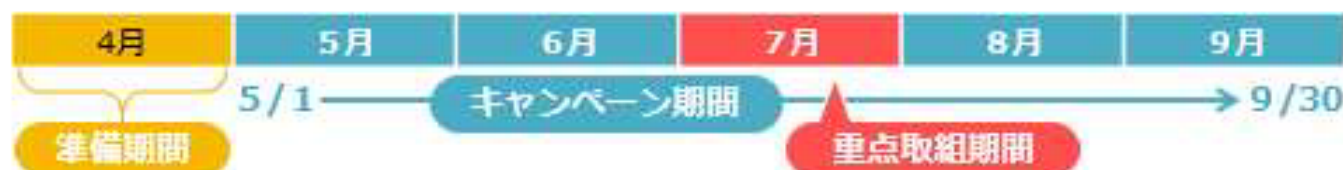
2019年5月～9月

## クールワークキャンペーン

— 熱中症予防対策の徹底を図る —

職場における熱中症で亡くなる人は、毎年全国で10人以上にのぼり、4日以上仕事を休む人は、400人を超えています。厚生労働省では、労働災害防止団体などと連携して、「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」を展開し、職場での熱中症予防のための重点的な取組を進めています。各事業場でも、事業者、労働者の皆さまご協力のもと、熱中症予防に取り組みましょう!

●実施期間：2019年5月1日から9月30日まで（準備期間4月、重点取組期間7月）



### キャンペーン期間（5月1日～9月30日）

STEP 1

#### ☐ 暑さ指数（WBGT値）の把握

JIS規格に適合した暑さ指数計で暑さ指数を測りましょう。

STEP 2

準備期間中に検討した事項を確実に実施するとともに、測定した暑さ指数に応じて対策を取りましょう。

STEP 3

熱中症予防管理者は、暑さ指数を確認し、巡視などにより、次の事項を確認しましょう。

- ☐ 暑さ指数の低減対策は実施されているか
- ☐ 各労働者が暑さに慣れているか
- ☐ 各労働者は水分や塩分をきちんと取っているか
- ☐ 各労働者の体調は問題ないか
- ☐ 作業の中止や中断をさせなくてよいか

#### ☐ 異常時の措置

～少しでも異常を感じたら～

- ・一旦作業を離れる
- ・病院へ運ぶ、または救急車を呼ぶ
- ・病院へ運ぶまでは一人きりにしない



### 重点取組期間（7月1日～7月31日）

- ☐ 暑さ指数の低減効果を改めて確認し、必要に応じ追加対策を行いましょう。
- ☐ 特に梅雨明け直後は、暑さ指数に応じて、作業の中断、短縮、休憩時間の確保を徹底しましょう。
- ☐ 水分、塩分を積極的に取りましょう。
- ☐ 各自が、睡眠不足、体調不良、前日の飲みすぎに注意し、当日の朝食はきちんと取りましょう。
- ☐ 期間中は熱中症のリスクが高まっていることを含め、重点的に教育を行いましょう。
- ☐ 少しでも異常を認めたときは、ためらうことなく、すぐに救急車を呼びましょう。

